

令和5年度 公民 科  
 教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス						単位数	分類	予定時数
政治・経済	政治・経済	3	A	B	C	D	E	F	2	必修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・グループワーク・演習・鑑賞
教科書	高等学校 改訂版 政治・経済(第一学習社)
使用教材等	政治経済資料(東京法令) NEW COM.-PASSノート政治・経済(東京法令)

科目の目標・内容等

学習目標	政治や経済に関わる制度や原理的仕組みについて理解し、現実の政治・経済事象に関心を寄せ、客観的理解及び主権者として主体的判断ができるようにする。
学習における留意点	知識・理解を重視するとともに、主権者としての主体的な判断力が磨けるように現実の政治・経済。社会問題に関心を向けさせる。
予習・復習	予習は、とうほう「ニューコンパスノート」を自力で埋め、教科書に目を通す。復習は、授業時に取ったトートを中心に教科書・「コンパスノート」・資料集を読み返し、「コンパスノート」の「用語チェック」により自分の理解・記憶を確認する。
評価方法	定期考査・平常点(小テスト・レポート・授業の取り組み等)・提出課題等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	・民主政治の基本原則と日本国憲法	・民主政治の基本原則について歴史を踏まへて学ぶとともに、日本国憲法の三大基本原則や、統治機構と地方自治、選挙制度などについて深く考えさせる。	政治についての基本原則や基本原則の解明に関心をもち、現実の政治現象をも深く理解しようとする意欲を持って取り組み、定期考査等でその成果を示せたか。課題や授業に主体的に取り組んだか。
2	・現代の国際政治と日本	・第二次大戦後の国際関係、国連の仕組みや課題、民族問題や領土問題について深く考えさせる。	国際政治についての基本原則や基本原則、国連のしくみなどの解明に関心をもち、現実の政治現象をも深く理解しようとする意欲を持って取り組み、定期考査等でその成果を示せたか。課題や授業に主体的に取り組んだか。
3	現代社会の諸問題	・社会保障の課題、格差問題、農業・食料問題、資源・エネルギー・環境問題等について、テーマを設定して考えさせる。	現代社会の諸問題に関心をもち、深く理解しようとする意欲を持って取り組み、定期考査等でその成果を示したか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。